



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月12日

上場会社名 株式会社ニチイ学館 上場取引所 東
 コード番号 9792 URL https://www.nichiigakkan.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森 信介
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理本部長代理 (氏名) 椎谷 和也 TEL 03-3291-2121
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 2019年12月9日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	147,882	3.7	6,360	53.1	4,055	108.2	1,603	536.8
2019年3月期第2四半期	142,596	0.8	4,154	10.7	1,947	7.2	251	△72.6

（注）包括利益 2020年3月期第2四半期 1,794百万円（475.8%） 2019年3月期第2四半期 311百万円（△61.0%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	24.91	24.70
2019年3月期第2四半期	3.92	3.91

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	193,629	41,680	20.9
2019年3月期	193,640	41,077	20.6

（参考）自己資本 2020年3月期第2四半期 40,479百万円 2019年3月期 39,986百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	15.00	—	20.00	35.00
2020年3月期	—	20.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	20.00	40.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	298,600	3.7	13,300	32.6	8,700	52.5	4,700	△23.1	73.02

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	73,017,952株	2019年3月期	73,017,952株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	8,599,982株	2019年3月期	8,671,247株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	64,366,639株	2019年3月期2Q	64,237,050株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

ニチイグループでは、「原点回帰」をテーマに、強いニチイの復活に向けた「事業構造改革」「組織改革」を通して、事業基盤の強化を進めており、コアビジネスである医療関連事業および介護事業を軸とした収益基盤の強化や、その根幹となる人材基盤の強化、教育事業・中国事業の構造改革を推進しております。

当第2四半期連結累計期間においては、3年目を迎えた「ビジョン実現推進プロジェクト(VIPRO)」をはじめとする現場主体の事業改革や、執行役員の配置によるエリアマネジメントの強化が、ビジネスモデルの基盤強化へと繋がり、引き続き、主力の医療関連事業、介護事業が増収・増益トレンドを牽引しました。また、人材基盤の強化に向けて、人材養成・採用促進等に特化する組織を2019年7月1日付にて設置し、当社の強みである「教育から就業まで」というビジネススキームの強化に向けた体制整備を行いました。

教育事業・中国事業の構造改革においては、両事業におけるオペレーションコストの削減が図られたことに加え、マンツーマン英会話レッスンを提供するG a b aの受講生数が堅調に推移したことにより、収益力の改善に大きく寄与しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は147,882百万円(前年同期比3.7%増)、営業利益は6,360百万円(前年同期比53.1%増)、経常利益は4,055百万円(前年同期比108.2%増)となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、教育事業の構造改革(COCO塾事業からの撤退)に伴う教室の原状回復費用等が発生したことにより、741百万円の特別損失を計上しておりますが、主力事業を中心とした業績回復により、1,603百万円(前年同期比536.8%増)となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりです。

<医療関連部門>

売上高56,840百万円(前年同期53,667百万円) 営業利益4,949百万円(前年同期4,448百万円)

病院部門においては、既受託医療機関における顧客満足度調査やサービス向上への取り組みを通じて、顧客ニーズへの対応や業務精度の向上に努めるとともに、引き続き、契約適正化に向けた交渉を実施してまいりました。また、医師の働き方改革に伴いニーズが拡大している医師事務作業補助業務等、新規案件の獲得に注力してまいりました。

医事教育部門においては、医療事務講座の受講生数が前年同期比で18%伸長し、人材供給力へと繋がる成果が現れております。

この結果、病院、診療所、医事教育の全ての部門において増収・増益となりました。

<介護部門>

売上高76,566百万円(前年同期75,509百万円) 営業利益8,518百万円(前年同期8,019百万円)

在宅系介護サービスにおいては、介護人材の確保・定着および中重度対応の強化等、将来を見据えた運営体制の強化に努めてまいりました。

居住系介護サービスにおいては、利用者退去後の空き期間の短縮化に向け拠点間の連携を強化し、利用者数の増加および稼働率向上に努めてまいりました。

この結果、在宅介護サービスにおける中重度利用者増による顧客単価の上昇や、居住系介護施設の更なる稼働率向上により、増収・増益となりました。

<保育部門>

売上高6,684百万円(前年同期5,433百万円) 営業損失711百万円(前年同期は営業損失477百万円)

当四半期においては、14ヵ所の保育関連施設を新設し、全国299ヵ所での展開となりました。また、企業主導型保育園の法人営業推進や、地域利用枠拡大を推進する等、待機児童問題の解決に向け、供給量の拡大に貢献してまいりました。

売上高については、新たな拠点展開や地域認知度の向上により園児数が増加し、増収となりました。営業利益については、新規施設の開設に伴う先行費用や保育士採用コストの増加により、営業損失拡大となりました。

<ヘルスケア部門>

売上高853百万円(前年同期779百万円) 営業損失977百万円(前年同期は営業損失309百万円)

家事代行サービス「ニチイライフ」、および国家戦略特区における家事代行サービス「サニーメイドサービス」の2ブランドにおいて、キャンペーン実施による販促活動や、法人営業等に注力してまいりました。サニーメイドサービスにおいては、2019年9月より新たに愛知県でのサービスを開始しました。また、現行の介護職員が介護サービスと家事代行サービスを兼務する体制から、介護サービスに専念できる体制の構築や、家事代行市場の拡大を視野に入れ、外国人スタッフ受け入れに係る人材投資を進めております。

売上については、積極的な販促活動によりサービス利用者数や法人契約数が増加し、増収となりました。営業利益については、サニーメイドサービスの人材投資費用が増加したことにより、営業損失拡大となりました。

<教育部門>

売上高5,650百万円(前年同期5,926百万円) 営業損失104百万円(前年同期は営業損失2,041百万円)

構造改革(COCO塾事業からの撤退)に伴い、2019年6月末に15教室を閉鎖し、全72教室の閉鎖を完了するとともに、フランチャイズ教室185校についても、2020年3月末をもって閉校することを決定いたしました。

子会社(株)GABAにおいては、Gabaマンツーマン英会話の全50ラーニングスタジオにおける、体験レッスンからの誘導強化や、法人営業強化により、新規受講生数の拡大に努めてまいりました。

構造改革(COCO塾事業からの撤退)により減収となりましたが、閉鎖教室に伴う人件費、地代家賃、広告宣伝費の減少等により、営業損失縮小となりました。

<セラピー部門>

売上高288百万円(前年同期182百万円) 営業損失164百万円(前年同期は営業損失288百万円)

ドッグサロンおよびドッグホテルを展開する「A-LOVE(エーラブ)」は、7月に1サロンを新規開設し、2019年9月末時点で全国25サロン展開となりました。サービスの質向上によるリピーターの創出や、地域における認知向上に注力するとともに、オプションサービスの提案力強化を図り、顧客単価の上昇に繋げてまいりました。

この結果、地域における認知向上による利用者数の増加や、顧客単価の上昇により増収・営業損失縮小となりました。

<グローバル部門>

売上高811百万円(前年同期966百万円) 営業損失291百万円(前年同期は営業損失694百万円)

中国における介護施設の運営受託や、日本式介護の研修、介護施設立ち上げに係るコンサルティングサービスの案件獲得に引き続き注力してまいりました。介護施設の運営受託においては、2019年9月末現在で4件受託しており、受託拡大に努めてまいりました。また、研修事業においては、リピート顧客が出現する等、契約数が堅調に増加し、日本式介護の啓蒙に取り組んでまいりました。

前期に実施した中国における不採算合弁会社の合弁解消および組織再構築による効率的運営の推進により、減収・営業損失縮小となりました。

<その他>

売上高187百万円(前年同期130百万円) 営業利益96百万円(前年同期126百万円)

ニチイグループ間における物品管理や電話受付業務等、各サービスの業務効率化や収益改善に貢献してまいりました。

この結果、増収・減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ11百万円減少し、193,629百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金の増加などにより流動資産が1,313百万円増加し、のれんの減少などにより固定資産が1,324百万円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ613百万円減少し、151,949百万円となりました。主な要因は、短期借入金の増加などにより流動負債が1,585百万円増加し、長期借入金の減少などにより固定負債が2,198百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ602百万円増加し、41,680百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月10日に公表した当連結会計年度の業績予想について、第2四半期までの進捗および介護部門における今後の投資計画を踏まえ、以下のとおり修正いたします。

売上高につきましては、介護部門、ヘルスケア部門のサービス利用者獲得等に遅れが生じ、計画を下回る見通しです。

営業利益につきましては、介護サービス提供基盤の拡充やITインフラの整備に伴う費用増、消費税率引き上げに伴う租税公課の増加等により、計画を下回る見込みです。

経常利益につきましては、上記の修正理由に加え、デイサービスセンターの大規模修繕を前倒して実施したことから、リース債務に掛かる支払利息が増加し、計画を下回る見通しです。

親会社株主に帰属する当期純利益は、上記の修正理由に加え、上期において教育事業の構造改革等に伴う特別損失741百万円を計上したことから、修正するものであります。

(連結業績予想)

2020年3月期 通期連結業績予想数値の修正 (2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	303,000	15,200	11,000	6,700	104.12
今回修正予想 (B)	298,600	13,300	8,700	4,700	73.02
増減額 (B - A)	△4,400	△1,900	△2,300	△2,000	
増減率 (%)	△1.5	△12.5	△20.9	△29.9	
(ご参考) 前期通期実績 (2019年3月期)	287,882	10,032	5,703	6,108	95.01

(個別業績予想)

2020年3月期 通期個別業績予想数値の修正 (2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	256,700	12,500	10,900	7,100	110.34
今回修正予想 (B)	252,400	10,800	8,800	4,750	73.80
増減額 (B - A)	△4,300	△1,700	△2,100	△2,350	
増減率 (%)	△1.7	△13.6	△19.3	△33.1	
(ご参考) 前期通期実績 (2019年3月期)	246,560	8,687	7,084	503	7.83

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,255,916	17,665,981
受取手形及び売掛金	33,434,278	35,018,429
有価証券	256,310	268,774
商品及び製品	364,426	459,809
仕掛品	11,159	33,426
原材料及び貯蔵品	175,533	181,465
その他	13,291,468	13,459,221
貸倒引当金	△104,166	△89,044
流動資産合計	65,684,926	66,998,064
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	21,950,524	21,940,786
リース資産(純額)	49,992,221	50,742,296
その他(純額)	10,369,489	9,794,025
有形固定資産合計	82,312,235	82,477,108
無形固定資産		
のれん	9,120,932	8,253,335
その他	3,977,138	3,960,644
無形固定資産合計	13,098,071	12,213,980
投資その他の資産		
その他	32,790,254	32,179,393
貸倒引当金	△244,715	△238,996
投資その他の資産合計	32,545,539	31,940,397
固定資産合計	127,955,845	126,631,486
資産合計	193,640,771	193,629,550
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	747,571	2,253,453
短期借入金	2,512,273	6,029,505
未払法人税等	2,941,364	2,565,581
未払費用	17,914,622	17,095,512
賞与引当金	5,937,697	6,645,700
役員賞与引当金	36,000	19,940
構造改革引当金	486,086	7,416
その他	30,088,847	27,632,386
流動負債合計	60,664,463	62,249,496
固定負債		
長期借入金	15,998,372	12,350,929
リース債務	57,113,991	58,255,107
退職給付に係る負債	7,742,022	7,896,528
資産除去債務	3,582,707	3,659,421
その他	7,461,436	7,537,589
固定負債合計	91,898,531	89,699,576
負債合計	152,562,995	151,949,073

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,933,790	11,933,790
資本剰余金	17,009,418	17,066,075
利益剰余金	22,867,282	22,927,399
自己株式	△11,177,438	△10,980,102
株主資本合計	40,633,052	40,947,163
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,481	12,201
為替換算調整勘定	△244,124	△157,629
退職給付に係る調整累計額	△414,813	△322,126
その他の包括利益累計額合計	△646,456	△467,554
新株予約権	605,781	628,987
非支配株主持分	485,398	571,880
純資産合計	41,077,776	41,680,476
負債純資産合計	193,640,771	193,629,550

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	142,596,669	147,882,887
売上原価	114,557,464	118,110,697
売上総利益	28,039,205	29,772,189
販売費及び一般管理費	23,884,305	23,411,256
営業利益	4,154,899	6,360,932
営業外収益		
受取利息	72,458	71,920
受取賃貸収入	104,663	100,164
補助金収入	19,790	33,135
持分法による投資利益	24,133	35,552
その他	205,288	166,863
営業外収益合計	426,334	407,636
営業外費用		
支払利息	2,416,896	2,515,424
賃貸費用	13,121	16,270
その他	203,666	181,174
営業外費用合計	2,633,685	2,712,869
経常利益	1,947,548	4,055,699
特別利益		
固定資産売却益	—	6
関係会社出資金売却益	128,950	—
新株予約権戻入益	1,691	—
その他	535	—
特別利益合計	131,177	6
特別損失		
固定資産除却損	3,532	55,553
投資有価証券売却損	149,705	—
関係会社出資金売却損	305,191	—
構造改革費用	—	633,657
その他	620	52,759
特別損失合計	459,049	741,970
税金等調整前四半期純利益	1,619,676	3,313,734
法人税、住民税及び事業税	1,890,419	1,698,293
法人税等調整額	△501,716	△1,539
法人税等合計	1,388,703	1,696,753
四半期純利益	230,973	1,616,981
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△20,790	13,825
親会社株主に帰属する四半期純利益	251,764	1,603,155

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	230,973	1,616,981
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	481	△420
為替換算調整勘定	△16,439	84,978
退職給付に係る調整額	96,574	92,687
その他の包括利益合計	80,616	177,245
四半期包括利益	311,590	1,794,226
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	343,700	1,781,938
非支配株主に係る四半期包括利益	△32,109	12,288

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。